



# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

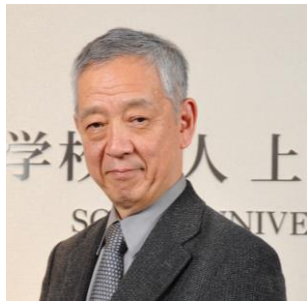
2022年9月4日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

## 論点

### 宗教と政治

9日(金)＝オピニオン面



安倍晋三元首相の銃撃事件をきっかけに、自民党と宗教団体・世界平和統一家庭連合（旧統一教会）の関係に批判が高まっています。かつて欧米では、国を統治するために

宗教が利用され、その過程では、マイノリティーの宗教が弾圧されてきました。日本は憲法で政教分離をうたっています。自民党と旧統一教会の「持ちつ持たれつ」の関係は、私

たちに疑念を抱かせます。宗教学者の島蘭進さん（東京大名誉教授）＝写真左＝、仲正昌樹さん（金沢大教授）＝写真右＝と政教分離と政治について考えます。



### 障害者雇用はどう向き合う

5日(月)＝1、3面

1970～80年代に企業に採用された身体障害者が定年を迎える「大量退職時代」が訪れています。毎日新聞が障害者雇用の取り組み状況について主要企業にアンケートした結果、こうした状況にあることが分かりました。

法定雇用が義務付けられた頃から働き出した人たちとみられ、企業は新たな人材の確保に苦慮しています。人材の奪い合いの様相にもなっており、各企業の取り組みや社会的な背景について紹介します。



知的障害や精神障害のある社員らが働くコンビニエンスストアの様子＝東京都千代田区で2022年7月4日、山縣章子撮影



迫る

## 映画で主人公 林家たい平さん

4日(日)＝1、3面

人気長寿番組「笑点」（日本テレビ系）で、落語家の林家たい平さん（57）＝写真＝はいつも明るい表情で笑いを届けています。着物の色からの「オレンジ」という愛称もすっかり落語ファンの間で定着しました。テレビのバラエティ（日本テレビ系）では、落語家の林家たい平さん（57）＝写真＝はいつも明るい表情で笑いを届けています。着物の色からの「オレンジ」という愛称もすっかり落語ファンの間で定着しました。

### 特集ワイド 九大教授の内田博文さんの国葬批判

5日(月)＝夕刊特集ワイド面



今月27日に迫る安倍晋三元首相の国葬について、世論は賛否で割れたままです。岸田文雄首相は国会の閉会中審査に臨む意向を示していますが、「岸田政権は国葬を政治利用している」と強く批判するのが内田博文・九州大名誉教授

（75）＝写真＝です。国葬を強行する裏に改憲実現の思惑があり、国葬を決めたプロセスは「緊急事態条項」を先取りするものだったということです。内田さんに取材し、論点を整理してもらいました。

新毎日

150  
2022年2月21日  
毎日新聞創刊150年

9月に入り朝晩が涼しく過ごしやすくなりました。秋は食欲が増ります。秋は食欲が増ります。季節です。現在、毎日新聞では朝刊で吉田修一さんの「永遠と横道世之介」、夕刊で貴志祐介さんの「兔は薄氷に駆ける」の連載中です。トランプの連中二つの小説は、どちらにも私にとって新しい発見があるように思っています。皆さんも毎日新聞の連載小説で読書の秋を楽しんでみてはいかがでしょうか。（中本慎二）

### 竹橋の窓辺から

編集後記



どのような心境で演じたのでしょうか。また、取材で、映画に出演することは「落語の栄養になる」とも打ち明けてくれました。落語という芸に精通するたい平さんの知られざる姿に迫ります。

※迫る「林家たい平さん」は紙面事情により掲載日が変わったため、先週に続く再掲です。都合により掲載日や内容を変更する場合がございます。予めご了承ください。